

# 親切運動の取組について

学校名 高岡市立博労小学校

児童生徒数 204名

## 1 親切運動の取組の紹介

### (1) 縦割り班活動

1～6年生の縦割り班を編成し、異学年交流を継続して行っている。毎日の清掃活動はこの縦割り班で行い、上級生が下級生に掃除の仕方を教え、役割を分担し協力して清掃に取り組んでいる。

また、児童会が中心となり、全校児童が縦割り班で楽しむ活動を計画し実施している。全校遠足では、高岡古城公園で班のメンバーと一緒に弁当を食べたり、遊んだりした。なかよし集会では、班対抗でクイズやピンポン玉運び等のゲームをするオリエンテーリングを楽しんだ。

縦割り班での活動を通して、上級生は下級生に親切に接する経験を積み、下級生は上級生に助けってもらえることで安心して活動している。このことが、学校全体の温かい雰囲気につながっている。



### (2) 花壇の栽培活動

児童玄関前の花壇は、4年生が学級で話し合い「花を見た人が、幸せな気持ちになってほしい」と願いを込め、クローバーとハートの形をデザインし、「あったかハート花壇」と名付けた。栽培委員会も協力して、苗植え、草取り、水やり等の世話をを行った。

栽培活動を通して、奉仕の心や協力して取り組む親切な態度を身に付けている。



### (3) 保育園児との交流活動

1年生は生活科の学習で、「秋のなかよし集会」に保育園の年長児を招待した。ドングリやまつぼっくり等を使った秋の遊びを紹介したり、一緒に遊びを楽しんだりした。

また、「年長児の小学校授業参観」では、5年生児童が年長児とペアになって、図書室で読み聞かせをするなど、触れ合いながら校舎内を案内した。

交流活動では、年長児に温かい気持ちで優しく接して、人の役に立つことへの喜びを感じ、思いやりの心を育てている。



## 2 親切運動に取り組んで

### ○ 取組の成果

- ・異学年や保育園児との交流活動により、安心感と自己有用感が高まり、学校全体に温かい心が育ってきている。

### ○ 課題と今後に向けて

- ・振り返りの場を設定することで、親切な心が育っていることを実感できるようにしたい。
- ・交流活動等の行事だけでなく、親切な行動が日常的に定着するような工夫が必要である。